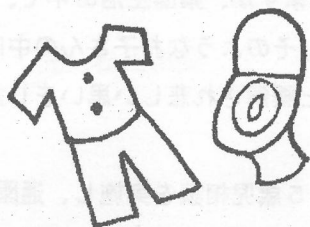


● 5歳ごろのお子さんは、こんな育ちがみられるようになります

生活習慣がほぼ確立します

- ・ひとりで服を脱いだり着たりする
- ・ひとりでトイレに行く
- ・はしを上手に使って食べる



ことばでコミュニケーションをとります

- ・考えていることをだいたい言葉で言う
- ・物語を読んであげるとその意味がわかる
- ・話しかけや問いかけに対して適切に応答する



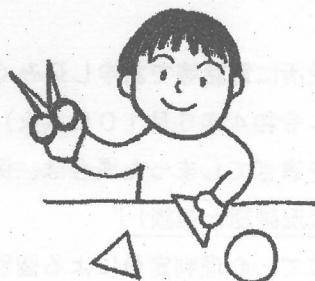
集団生活への適応力が身に付きます

- ・数人のお友達と遊ぶ
- ・簡単なルールのある遊びをする
- ・したいことを我慢しようとする
- ・思いやりの心を持つ



体・手先の運動能力が向上します

- ・スキップやブランコなど手足を同時に使ったバランスの取れる動きをする
- ・はさみを上手に使うなど手先が器用になる



● 5歳頃は「ちょっぴり気になる行動」に気づくことが多くなります

4～5歳はほとんどのお子さんが就園しており、集団のルールやたくさんのお友達の中で生活をしています。中には、家庭ではうまく過ごせているのに、子ども同士が関わり合う中で困ってしまう子もいます。

● 早めに気づき、温かく見守り、適切に働きかけることが大切です

お子さんが困っていることに身近な大人が早く気づき、お子さんの特性を知って、関わり方の工夫などを行うことで、集団生活になじめるようになります。

家庭でも関わり方のコツがわかると、お子さんも家族も過ごしやすくなります。

● お子さんの今の状態を振り返ってみましょう

5歳児相談質問票や、母子健康手帳の4～5歳の「保護者の記録」をつけてみましょう。

また、気になる行動は集団生活の中で現れやすいものです。お子さんの集団生活の様子を園の先生とお話ししてみてください。

ちょっと気になるけど相談するほどではないと思っていたこと、大きくなれば変わるだろうと様子を見てきたことはありませんか。気になることがある方は、ぜひ5歳児相談をお申込みください。